SONY

4-107-639-04 (1)

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このユーザーガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**このユーザーガイドをよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IPELA *Exwave*PRO

SNC-CM120
SNC-CS20

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したり破損したら使わずに、ソニーのサービス窓口に相談する。

警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**、**落下**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

特に壁に穴を開けたり、電源コードやケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

設置説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電、発火の原因となることがあります。

指定された電源電圧で使用する

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。
壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。
設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの設置説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルを傷つけない

電源コードや接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。
- ぐらついた台の上
- 傾いたところ
- 振動や衝撃のかかるところ

また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コードやケーブルを窓やドアにはさみ込まない

コードやケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

注意　下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えたりすることがあります。

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご依頼ください。

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときなどはご注意ください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源コードや本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。

接続の際は電源を切る

電源を入れたままで電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保証書とアフターサービス

保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用製品ご相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

使用上のご注意

ご使用の前に
- 開梱してから、結露などがある場合には60分程度、放置後電源を入れてください。

データ・セキュリティについて
- ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- ネットワークカメラへのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。
- 諸事情による本ネットワークカメラに関連するサービスの停止、中断については、ソニーは一切の責任を負いません。
- ワイヤレスLANをご使用時にはセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生した場合には弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
  また、記録されたデータの損失、修復の責任も負いかねます。
- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部のストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

個人情報について
- 本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
- 本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。
  本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

使用・保管場所について
次のような場所での使用および保管は避けてください。
- 極端に暑い所や寒い所（使用温度は－10 ℃～＋50 ℃）
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- 強い振動や衝撃のある所

放熱について
動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因になります。

輸送について
- 持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。
- 輸送するときには、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて
- レンズや光学フィルターの表面に付着したごみやほこりは、ブロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、から拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることもあります。

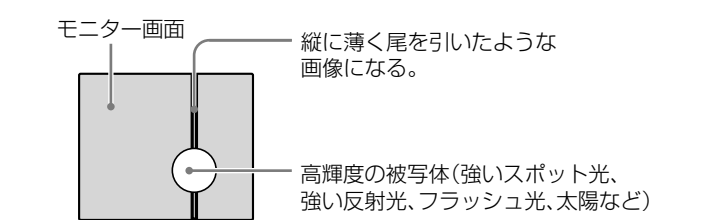
異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニー業務用製品ご相談窓口にお問い合わせください。

レーザービームについてのご注意
レーザービームはCCDに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CCD表面にレーザービームが照射されないよう十分注意してください。

CCD 特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CCD（Charge Coupled Device）特有の現象で、故障ではありません。

白点
CCD撮影素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。
これはCCD撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。
また、下記の場合、白点が見えやすくなります。
- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン（感度）を上げたとき
- スローシャッターのとき

スミア現象
強いスポット光やフラッシュ光などを撮影したときに、画面上の縦線や画乱れが発生することがあります。

折り返しひずみ
細かい模様、線などを撮影すると、ギザギザやちらつきが見えることがあります。

付属の説明書について

設置説明書（本書）
この設置説明書には、カメラ本体の各部の名称や設置、接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

ネットワークカメラ簡単設定ガイド（CD-ROMに収録）
カメラで撮影した映像をコンピューターで見るための設定のしかたが記載されています。
設置説明書にしたがってカメラを正しく設置、接続したあと、簡単設定ガイドをご覧になって設定を行ってください。

ユーザーガイド（CD-ROMに収録）
カメラのセットアップの方法や、Webブラウザを介したコントロールの方法が記載されています。
ユーザーガイドをご覧になってカメラを操作してください。

CD-ROMマニュアルの使いかた

付属のCD-ROMには、本機のユーザーガイドと簡単設定ガイドがPDF形式で記録されています。

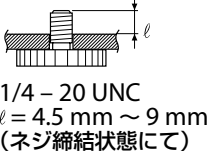
準備
付属のCD-ROMに収録されているガイドを使用するためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。
Adobe Reader 6.0以上
Adobe Readerがインストールされていない場合は、次のURLからダウンロードできます。
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

マニュアルを読むには
1. **CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**
   表紙ページが自動的にWeb ブラウザで表示されます。
   Web ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROM に入っているindex.htm ファイルをダブルクリックしてください。
2. **読みたいマニュアルを選択してクリックする。**
   マニュアルのPDFファイルが開きます。
   「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

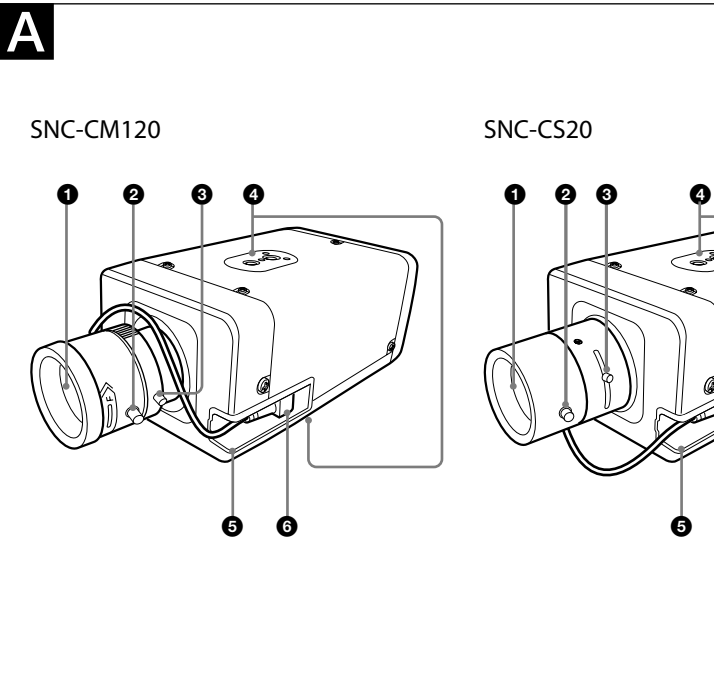
ご注意
- Adobe Readerのバージョンによってファイルが正しく表示されないことがあります。
  「準備」の項のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。
- CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、ソニーのサービス担当者にご依頼ください（有料）。

AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

各部の名称と働き

前面　A

❶ **レンズ**
1/3型用（SNC-CM120）、1/4型用（SNC-CS20）バリフォーカルレンズを標準装備しています。

❷ **フォーカスリング**
N側へ回すと近いところに、∞側へ回すと遠いところにフォーカスが合います。

❸ **ズームリング**
T側へ回すと望遠、W側へ回すと広角になります。

❹ **三脚用取り付けネジ穴**
カメラ三脚などにカメラを固定するときに使用します。

ご注意
4.5 mm ～ 9mm 以外のネジを使用すると、取り付けが不安定になったり、本機の内部を損傷して故障の原因となることがあります。

❺ **LENS（レンズ）コネクタカバー**
LENS（レンズ）コネクタを取りはずすときに使用します。

❻ **LENS（レンズ）コネクタ(4ピン)**
DC制御タイプのオートアイリスレンズに電源や制御信号を供給します。

後面　B

❼ **LANポート（RJ45）**
ネットワークケーブル（UTP、カテゴリー 5）を使用してネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX）に接続します。
PoE接続については、「電源の接続」をご覧ください。

❽ **I/Oポート**
外部センサー入力、アラーム出力端子として使用します。

ピン配列

ピンNo.	信号
1	アラーム出力 1－
2	アラーム出力 1＋
3	アラーム出力 2－
4	アラーム出力 2＋
5	センサー入力－（GND）
6	センサー入力＋

❾ **（マイク入力）端子（ミニジャック、モノラル）**
市販のマイクを接続します。プラグインパワー方式（基準電圧2.5VDC）に対応しています。

❿ **AUDIO IN（オーディオ入力）切換スイッチ**
マイク／ライン入力端子に入力されるオーディオ信号の入力レベルを切り換えます。
LINE：ライン入力レベル
MIC：マイク入力レベル
（工場出荷時はMIC。）

⓫ **（ライン出力）端子（ミニジャック、モノラル）**
市販のアンプ内蔵スピーカーを接続します。

⓬ **VIDEO OUT（映像出力）切換スイッチ**
スイッチを押すたびに、カメラの動作モードがIPモード→NTSC+IPモード→PAL+IPモード→IPモード…と順番に切り替わり、VIDEO OUTインジケーターの表示が変化します。（工場出荷時は、IPモード。）
ビデオモニターを使用して画角調整をする場合、このスイッチで適切なビデオ信号を選択してください。
IPモード：VIDEO OUT端子からビデオ信号は出力されません。（VIDEO OUTインジケーター消灯）
NTSC+IPモード：VIDEO OUT端子からNTSC規格のビデオ信号が出力されます。（VIDEO OUTインジケーターは緑色で点灯）
PAL+IPモード：VIDEO OUT端子からPAL規格のビデオ信号が出力されます。（VIDEO OUTインジケーターは橙色で点灯）

ご注意
NTSC+IPモードやPAL+IPモードの場合も、LAN経由で画像や音声をコンピューターに出力することができますが、制約があります。
制約の詳細についてはユーザーガイドをご覧ください。

⓭ **DC 12V/AC 24V（電源入力）端子**
DC 12VまたはAC 24Vの電源供給装置へ接続します。

⓮ **VIDEO OUT（映像出力）端子**
BNCケーブル（付属していません）を接続します。

⓯ **POWER（パワー）インジケーター**
カメラに電源が供給されると、カメラ内部でシステムチェックを行います。
正常の場合はこのインジケーターが点灯します。
内部でシステムエラーが発生している場合は1秒ごとに点滅します。
この場合は、お買い上げ店、またはお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

⓰ **（アース）端子**
AC 24V用の筐体アースです。

ご注意
AC 24VまたはDC 12Vで電源供給する場合、本機の最大消費電力は9W（SNC-CM120）、7.5W（SNC-CS20）です。電源許容量をご確認の上、接続してください。

⓱ **落下防止用ワイヤーロープ取り付けネジ穴**
付属のワイヤーロープを取り付けます。

⓲ **リセットスイッチ**
先の細いもので、このスイッチを押しながら電源を供給すると、工場出荷時の設定に戻ります。

⓳ **IRIS（アイリス）切換スイッチ**
レンズのフォーカス調整時に使用します。
スイッチを押すたびに、レンズのアイリスが開放（全開）と通常状態に切り替わります。（工場出荷時は、通常状態。）
開放にすると、画面にIRIS OPEN表示とフォーカスアシストインジケーターが表示されます。VIDEO OUTスイッチがNTSC+IPモードまたはPAL+IPモードのときはVIDEO OUT端子に接続したモニターの画面に、IPモードのときはコンピューターの画面にインジケーターが表示されます。
◆ 詳しくは、「フォーカスアシスト機能」（裏面）をご覧ください。

⓴ **NETWORK（ネットワーク）インジケーター**
ネットワークに接続されているときは緑色に点滅します。ネットワークに接続されていないときは消灯しています。

㉑ **VIDEO OUT（映像出力）インジケーター**
VIDEO OUTスイッチの設定に応じてカメラの動作モードを表示します。IPモードのときは消灯、NTSC+IPモードのときは緑色で点灯、PAL+IPモードのときは橙色で点灯します。

（裏面へ続く）

C

D

E

F

G

正面（SNC-CM120）　正面（SNC-CS20）

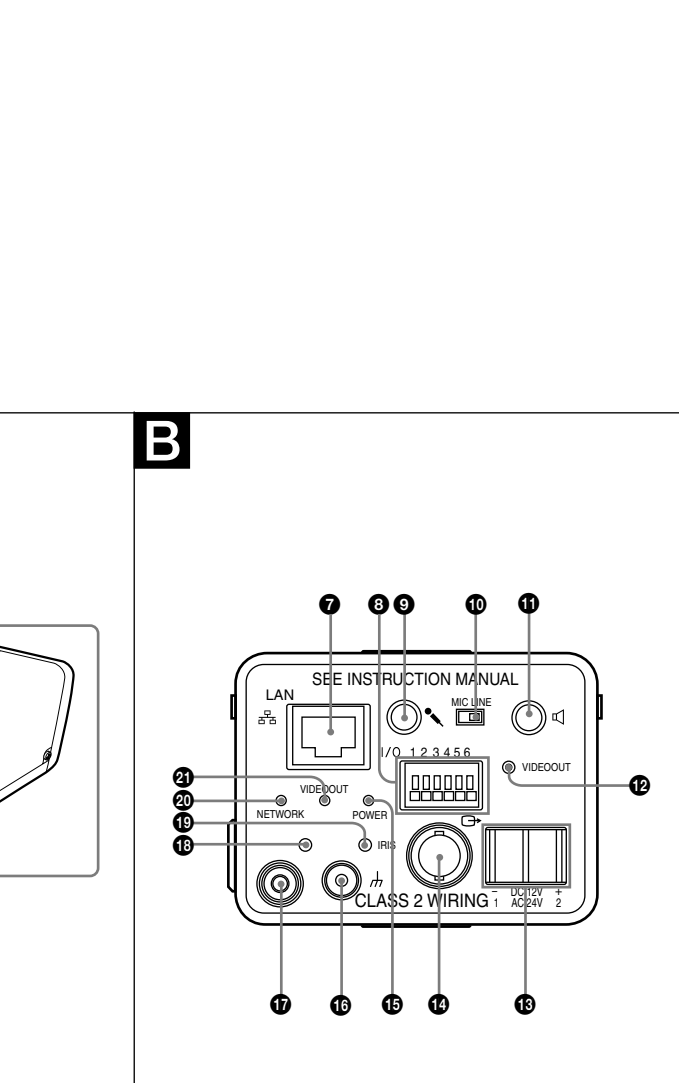
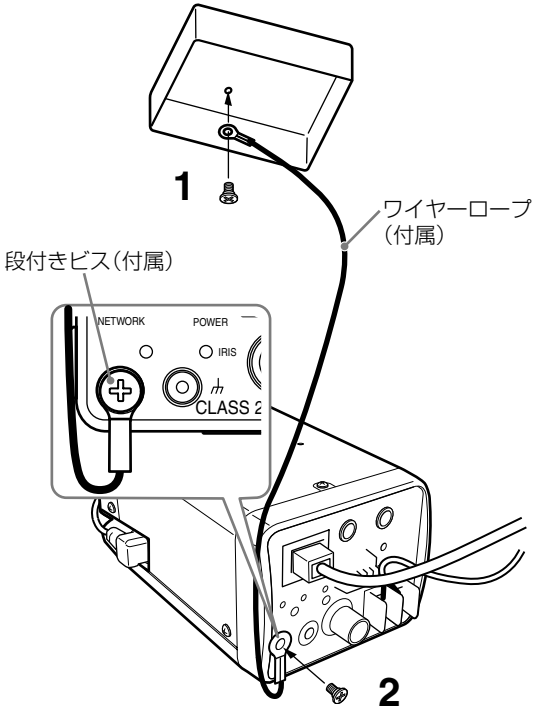
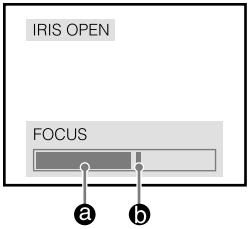
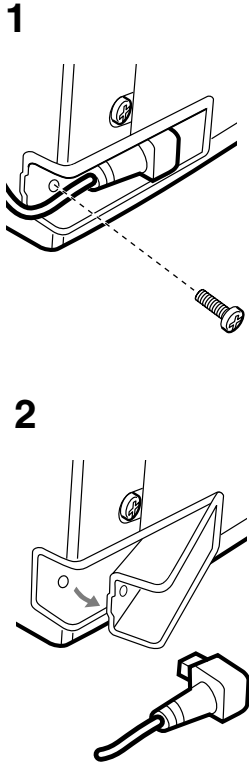
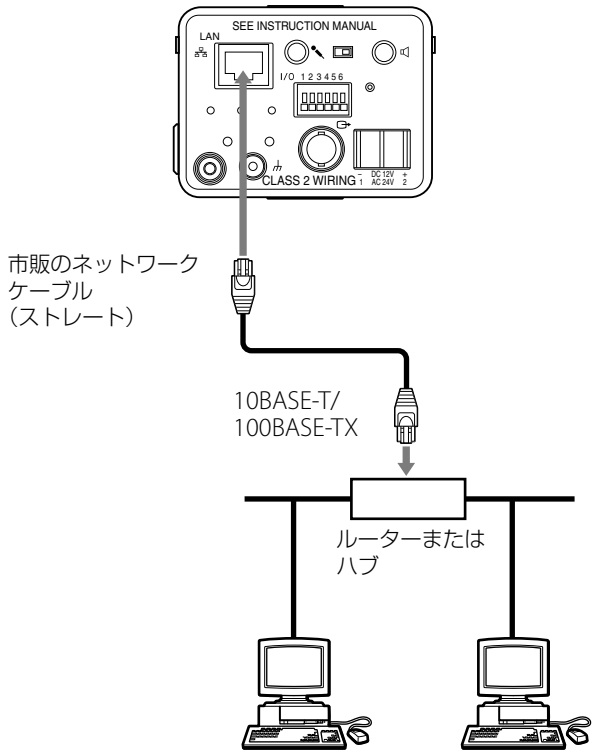
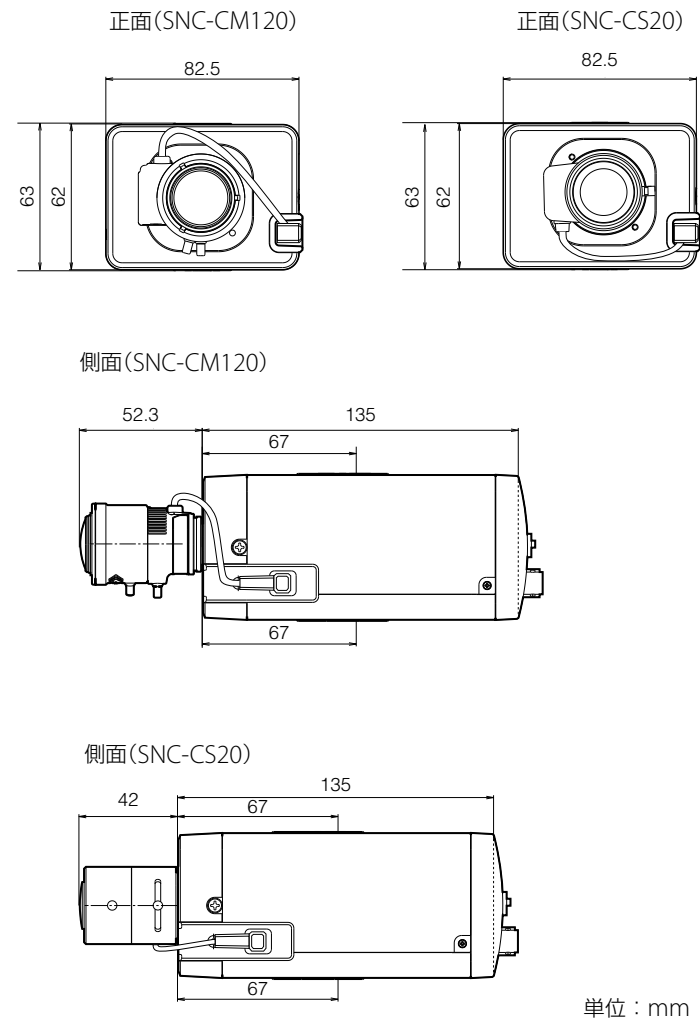
82.5　63　62

側面（SNC-CM120）

52.3　135　67　67

側面（SNC-CS20）

42　67　135　67

単位：mm

設置

⚠警告

落下事故防止のため、付属のワイヤーロープを必ず取り付けてください。

落下防止用ワイヤーロープの取り付け C

天井や高い場所にカメラを設置する場合は、落下事故防止のため、必ず付属の落下防止用ワイヤーロープを取り付けてください。
ワイヤーロープは、図のように付属の段付きビスで本機後面のワイヤーロープ取り付けネジ穴に取り付けます。

ご注意

ワイヤーロープを取り付ける際、ワイヤーロープが電源端子やケーブルとショートしないよう、配線にはご注意ください。

1 **天井のジャンクションボックスなどへワイヤーロープを取り付ける。**
ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジ（付属していません）をお使いください。

2 **付属の段付きビスで、ワイヤーロープを本機後面のワイヤーロープ取り付けネジ穴に取り付ける。**

⚠警告

取り付けには付属のネジをご使用ください。付属以外のネジをご使用になると、ワイヤーロープの機能が有効に働かない可能性があります。

フォーカスアシスト機能 D

1 **VIDEO OUTスイッチで、使用するビデオモニターに合わせてカメラの動作モードを切り換える。**

2 **IRISスイッチを押し、アイリスを開放する。**
モニター画面にIRIS OPEN表示とフォーカスアシストインジケーターが表示されます。
フォーカスの合った度合によりバー ⓐの長さが変わります。ⓑはピークホールド値を示します。

3 **フォーカスリングを回し、バー ⓐがピークホールド値ⓑに達するように調整する。**

LENS（レンズ）コネクタの取りはずし E

1 LENS（レンズ）コネクタカバーのネジを取りはずす。

2 LENS（レンズ）コネクタカバーを手前に引いてLENS（レンズ）コネクタを取りはずし、再びネジを取り付ける。

接続

ネットワークへの接続 F

市販のネットワークケーブル（ストレートケーブル）を使って、ネットワークのルーターまたはハブを接続します。

コンピューターへ接続するには

市販のネットワークケーブル（クロスケーブル）を使って、本機とコンピューターのネットワークコネクターを接続します。

電源の接続

本機は、次の3通りの方法で電源を接続できます。

- DC 12V
- AC 24V
- IEEE802.3af準拠の電源供給装置（PoE*方式）

* PoE: Power over Ethernet の略です。

ご注意

電源入力ケーブルとLANケーブルの両方から電源が供給された場合、LANケーブルからの電源が優先されます。

DC 12VまたはAC 24V電源への接続

AC 24VまたはDC 12Vの電源供給装置へ接続します。

- DC 12VまたはAC 24Vは、AC100Vに対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。
  DC 12V：10.8V ～ 13.2V
  AC 24V：21.6V ～ 26.4V
- DC 12VまたはAC 24Vの配線には、ULケーブル（VW-1 style 1007）を使用してください。

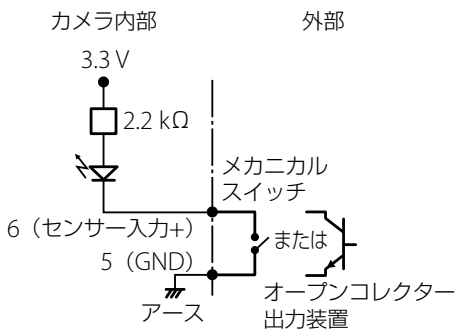
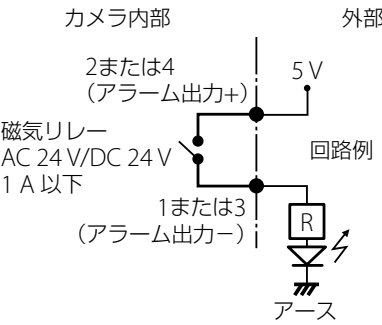
IEEE802.3af準拠の電源供給装置への接続

IEEE802.3af準拠の電源供給装置はLANケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

I/Oケーブルの接続

I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。

センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ/オープンコレクター出力装置

アラーム出力への配線図

主な仕様

圧縮方式

映像圧縮方式　JPEG/MPEG4
音声圧縮方式　G.711/G.726（40, 32, 24, 16 kbps）
最大フレームレート
　30 fps

カメラ (SNC-CM120)

信号方式　NTSCカラー方式／ PALカラー方式（切り換え）
撮像素子　1/3 型インターライン転送方式（ExwavePRO）CCD
　総画素数: 約132万画素
　有効画素数: 約125万画素
同期方式　内部同期
水平解像度　600 TV 本（アナログビデオ）
映像S/N (AGC 0 dB時)
　50 dB以上
最低被写体照度（AGC 30 dB、F1.3、50IRE時）
　カラー：0.8 lx（AGC 30dB、通常読み出し時）
　　0.2 lx（AGC 36dB、ライトファンネル時）
　白黒：0.07 lx（AGC 30dB、通常読み出し時）
　　0.01 lx（AGC 36dB、ライトファンネル時）

カメラ (SNC-CS20)

信号方式　NTSCカラー方式／ PALカラー方式（切り換え）
撮像素子　1/4 型インターライン転送方式（ExwavePRO）CCD
　総画素数: 約35万画素
　有効画素数: 約33万画素
同期方式　内部同期
水平解像度　400 TV 本（アナログビデオ）
映像S/N (AGC 0 dB時)
　50 dB以上
最低被写体照度（AGC 36 dB、F1.3、50 IRE時）
　カラー：0.2 lx
　白黒：0.01 lx

レンズ（SNC-CM120に標準装備）

焦点距離　2.8 ～ 6 mm
最大口径比　F1.3
画角　垂直：74.2° ～ 35.2°、水平：101.2° ～ 47.0°
最至近撮影距離300 mm

レンズ（SNC-CS20に標準装備）

焦点距離　3 ～ 8 mm
最大口径比　F1.0
画角　垂直：49.3° ～ 20.2°、水平：66.6° ～ 27.0°
最至近撮影距離200 mm

インターフェース

LANポート　10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション（RJ-45）
I/Oポート　センサー入力：×1、MAKE接点、BREAK接点
　アラーム出力：×2（最大AC/DC 24 V、1 A）
　（メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁）
映像出力端子　VIDEO OUT（BNC型）
　1.0 V p-p、75 Ω不平衡、同期負極性
マイク入力*　ミニジャック（モノラル）
　プラグインパワー方式対応（基準電圧2.5VDC）
ライン入力*　ミニジャック（モノラル）

* マイク入力とライン入力はスイッチによる切り換え

ライン出力　ミニジャック（モノラル）、最大出力レベル：1Vrms

その他

電源電圧　DC 12V ±10%
　AC 24V ±10% 50/60Hz
　IEEE802.3af準拠（PoE方式）
消費電力　SNC-CM120：最大 9 W
　SNC-CS20：最大 7.5 W
使用温度　−10℃～＋50℃
保存温度　−20℃～＋60℃
動作湿度　20～80 %
保存湿度　20～95 %
外形寸法（幅×高さ×奥行き） G
　82.5×63×135 mm（突起部含まず）
質量　SNC-CM120: 約610g（レンズ含む。その他付属品含まず。）
　SNC-CS20: 約600g（レンズ含む。その他付属品含まず。）
付属品　CD-ROM（ユーザーガイド、簡単設定ガイド、付属プログラム）(1)
　ワイヤーロープ(1)
　段付きビスM4(1)
　保証書（冊子）(1)
　設置説明書(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

定期点検のお願い

本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただくため、定期点検をお願いします。
外観上は異常がなくても、使用頻度によって部品が劣化している可能性があり、故障したり事故につながることがあります。

◆ 詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

補修用部品の保有年数

補修用性能部品は製造打ち切り後、7年間保有します。